

## JNEC認定モデルハンドを使用する際の 基本的なネイルテクニク工程

オフィシャルテキスト「JNAテクニカルシステム ベーシック／アドバンス」掲載の基本的なネイルケアやイクステンション等において、JNEC認定モデルハンドを使用する際の技術工程をまとめて解説しています。

※「JNAテクニカルシステム」を抜粋した内容となりますので、より詳細な技術工程はオフィシャルテキストにてご確認ください。

※以下、JNEC認定モデルハンドを「認定モデルハンド」、JNEC認定ネイルチップを「認定チップ」、JNEC認定ルースキューティクルを「認定ルースキューティクル」とします。

### JNEC認定モデルハンドの準備

1



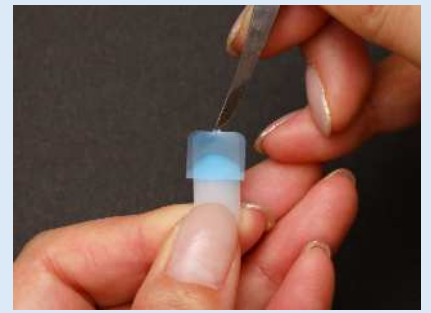
認定モデルハンド全体とネイルベッドを消毒します。

2



ネイルベッドにグルーを塗布します。アクティベーター等は使用しないようにします。

3



認定チップ表面のキューティクル側に認定ルースキューティクルを貼付します。

4



認定チップの裏面に両面テープを貼付します。

5



認定チップを装着します。



両手完成

## ネイルケア

1



コットンに消毒用エタノール等の消毒剤を含ませ、施術者の手の甲、手のひら、指の間、指先を消毒します。

2



コットンを替え、消毒剤を含ませ、認定モデル手を施術者同様に消毒します。

3



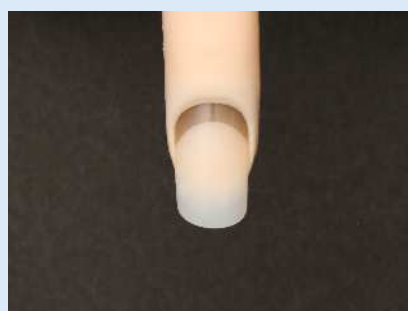
ネイルニッパーで長さとしを調整します。

4



エメリーボードでラウンドに整えます。

5



ファイリング完成

6



適温のお湯と少量の液体ソープを入れたフィンガーボールに指先を浸します。

7



タオルドライをします。

8



キューティクルリムーバーをキューティクル付近に付け、メタルプッシャーの表面で広げます。

9



メタルプッシャーでプッシュバック、プッシュアップします。

※キューティクルクリームを使用した工程はオフィシャルテキストをご確認ください。

10



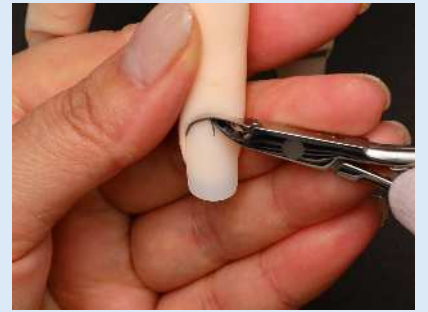
ネイルブラシをお湯に浸し、ブラシダウンします。

11



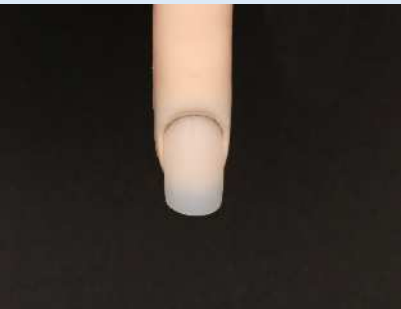
タオルドライをします。

12



ガーゼとキューティクルニツパーを持ち、ガーゼに水を含ませ、余分なルースキューティクルを取り除きます。

13



ネイルケア完成

## カラーリング

1



プレプライマーを塗布します。

2



ベースコートのエッジと表面に塗布します。

3



カラーポリッシュのエッジと表面に塗布します。

4



表面はカラーポリッシュを2度塗りします。はみ出した場合は、ウッドスティックやコットンスティックにポリッシュリムーバーを含ませて修正します。

5



トップコートのエッジと表面に塗布します。

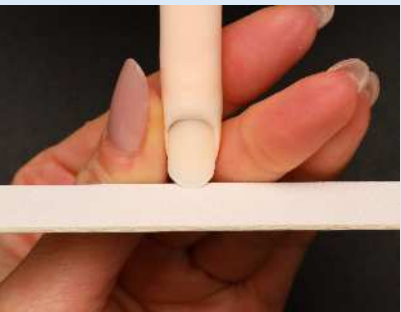
7



カラーリング完成

## チップ&ラップ

1



フリーエッジをネイルニッパーで短くカットし、エメリーボードで整えます。

2



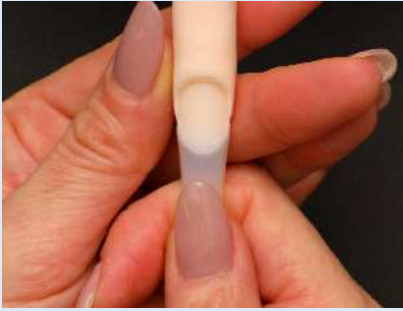
ネイルベッドをファイルでサンディングします。

3



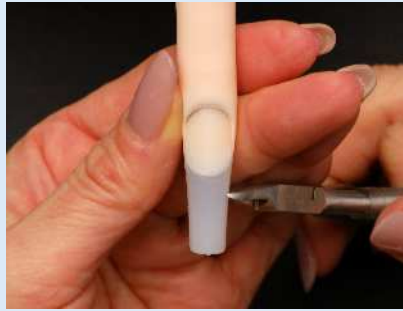
ネイルブラシでファイルダストを取り除き、プレプライマーを塗布します。

4



ネイルチップをグルーで装着します。

5



ネイルニッパー(またはチップカッター)で長さをカットし、ファイルで表面の段差や形を整えた後、プレプライマーを塗布します。

6



シルクを貼り、シルク全体にグルーを塗布します。先端の余分なシルクはファイルで取り除きます。

7



レジン塗布し、アクティベーターで硬化させます。厚みと形を整えながら数回繰り返します。

8



ファイルでアウトラインや表面を整えます。

9



スポンジバッファーで表面を滑らかに整えます。

10



シャイナーで表面を磨きます。

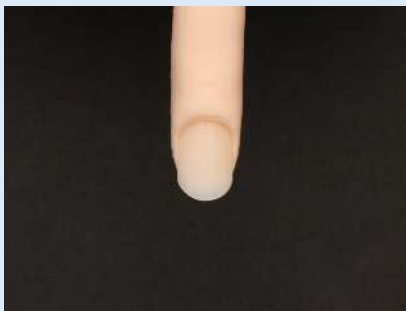
11



チップ&ラップ完成

## ナチュラルスカルプチュアネイル

1



フリーエッジをネイルニッパーで短くカットし、エメリーボードで整えます。

2



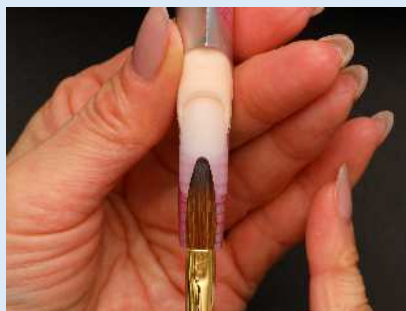
ネイルベッドをファイルでサンディングし、ファイルダストを取り除いた後プレプライマーを塗布します。

3



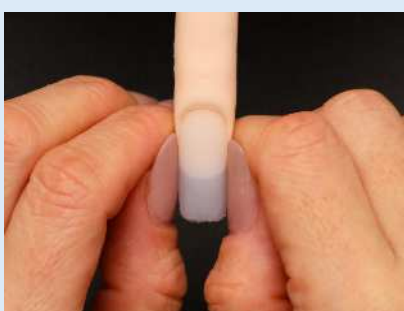
人の指の場合と同じようにネイルフォームをカット、装着し、プライマーを塗布します。

4



ミクスチュアでアプリケーションし、全体のフォルムを整えます。

5



ネイルフォームをはずし、ピンチングします。必要に応じてCカーブ用スティックを使用してください。

### ●Point

※ネイルベッドのパウダーは、ナチュラル、クリア、クリアピンクのいずれも可。(フリーエッジはナチュラル)

※人の指ではなく体温がないため、硬化のタイミングを見極めましょう。

※認定モデルハンドの指に、自分の指を沿わせながらピンチングを行うと認定チップが外れにくくなります。

6



ファイルで長さやアウトライン、表面を整えます。

7



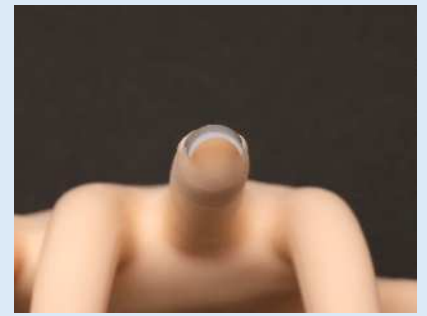
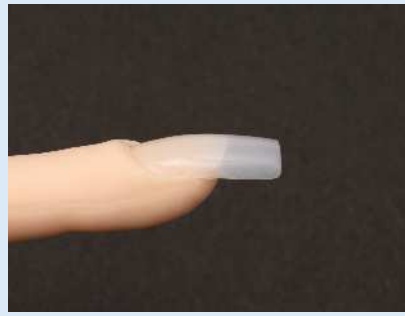
スポンジバッファーで表面を滑らかに整えます。

8



シャイナーで表面を磨きます。

9



ナチュラルスカルプチュア完成

### チップ&オーバーレイ

※ネイルチップ装着の工程までは【チップ&ラップ1~5】と同じ。

1



ナチュラルのミクスチュアでアプリケーションし、全体のフォルムを整えます。

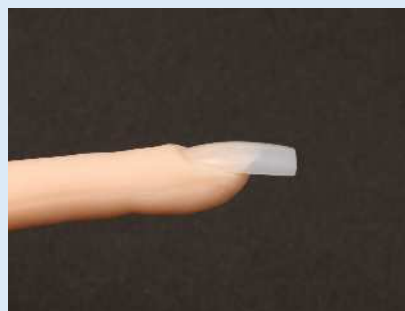
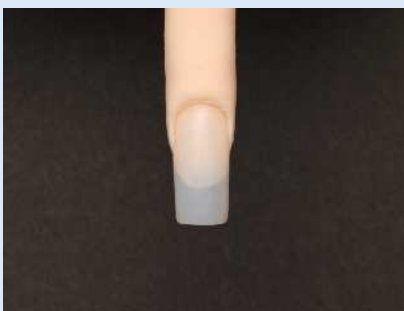
2



ピンチングをします。

※ピンチング後の工程は【ナチュラルスカルプチュア6~8】と同じ。

3



チップ&オーバーレイ完成

## ミックスメディアアート

1



裏面に両面テープを貼ったプレスオンチップを、認定ネイルチップの上に装着します。

2



ベースコートとカラーポリッシュを塗布し、フラットアート、エンボスを描きます。

3



3Dを作成し、ネイルチップの上へのせ、トップコートを塗布します。

4



ミックスメディアアート完成

監修 仲宗根幸子 小笠原弥生

技術担当 金井智子 太田直美

発行 NPO法人日本ネイリスト協会

〒100-0014 東京都千代田区永田町2-13-10 プルデンシャルタワー7F

<https://www.nail.or.jp/>

2024年5月1日発行